



2019/02/12 (V2.0)

第 21 回 環境リモートセンシングシンポジウム

場所 千葉大学けやき会館 3階 レセプションホール・会議室 4

日時 2019 年 2 月 14 日 (木) 9:00~16:25

【口頭発表】

9:00-11:45, 14:00-16:15 (発表: 10 分、質疑: 5 分) (3階レセプションホール)

【ポスター発表】

12:45-13:45 (3階 会議室 4 など)

—プログラム—

8:55-9:00 開会の挨拶 久世宏明 (千葉大学 CERE S センター長)

セッション 1: 「防災」(座長: 梶原康司)

(1) 9:00-9:15 金子大二郎 ((株) 遥感環境モニター)

津波避難ビル群の適性と社会地理モデルによる人命リスクの評価 – 相模湾の湘南都市域への適用 –

(2) 9:15-9:30 劉 ウェン(千葉大学), 山崎 文雄

PALSAR-2 画像を用いた 2018 年 7 月西日本豪雨における浸水被害の把握

(3) 9:30-9:45 Luis Moya (Tohoku Univ.), F. Yamazaki, W.Liu, S.Koshimura, E.Mas

Three-Dimensional Texture in the Context of Remote Sensing Damage Detection

(4) 9:45-10:00 郭 榮珠(土木研究所), 近藤昭彦

バングラデシュにおける広域氾濫マッピングと地域特徴による水害リスク評価

(5) 10:00-10:15 Liu Jann-Yenq (National Central Univ.), K. Hattori, iSTEP-4

Seismo-ionospheric Earthquake Precursors of the Electron Density in Japan by Using GNSS Remote Sensing Techniques

休憩 10:15-10:30

セッション 2: 「観測技術・システム・新規利用」(座長: 入江仁士)

(6) 10:30-10:45 増田健二 (静岡大学), 眞子直弘, 久世宏明

リモートセンシングによる広域の植物蛍光強度分布画像取得の提案

(7) 10:45-11:00 齊藤保典 (信州大学), 宇都宮成弥, 熊谷陽介, 富田孝幸, 椎名達雄

プラスチック廃棄物を含む水辺周辺環境の蛍光ライダー観測の初期試験

(8) 11:00-11:15 飯倉善和 (弘前大学), 関口美保, 眞子直弘, 市井和仁, 久世宏明

MODIS L1B を利用した光学的厚さと反射率の同時推定

(9) 11:15-11:30 野口克行(奈良女子大学), 入江仁士

探査機リモートセンシングデータを用いた火星大気環境の研究

(10) 11:30-11:45 佐藤頌太(千葉大学), 藤川大祐

AIリテラシーを養う授業実践の開発 -中学生が機械学習を用いた課題解決を行う授業実戦を通じて-

休憩(昼食) 11:45-12:45

ポスターセッション： 12:45-13:45 (3F 会議室 4 など) ポスターサイズ：最大 A0 縦版

セッション 3: 「ひまわり 8 号の応用」 (座長: 楊 偉)

(11) 14:00-14:15 樋口篤志 (千葉大学)

千葉大学 CERE S における衛星データアーカイブの現状と利用

(12) 14:15-14:30 濱田 篤 (富山大学), 内木詩歩, 安永数明

ひまわり 8 号高頻度観測から同定した熱帯域雲システムの日変化

(13) 14:30-14:45 三浦知昭 (Univ. Hawaii), 永井信, 市井和仁, 吉岡博貴

Vegetation Dynamics in Japan as Observed from Himawari-8 Geostationary Satellite

(14) 14:45-15:00 林 航大 (千葉大学), 市井和仁, 村上和隆, 三浦知昭, 吉岡博貴, 秋津朋子,

井手玲子, 奈佐原顕郎

ひまわり 8 号による広域植生モニタリングの実現性評価

休憩 15:00-15:15

セッション 4: 「地球環境モニタリングとフューチャーアース」 (座長: 市井和仁)

(15) 15:15-15:30 吉村彰大(千葉大学), 綿引将司, 松野泰也

夜間光衛星画像の分析による途上国のエネルギー需要量推計

(16) 15:30-15:45 馬淵和雄, 本多嘉明, 梶原康司

気候モデル数値実験結果による衛星プロダクト導出アルゴリズムの検証

(17) 15:45-16:00 小坂真悟(千葉大学), 齋藤尚子

GOSAT/TANSO-FTS 及び MOPITT データを用いたバイオマス燃焼起源の CO₂ 及び CO の大気中濃度変動の解析

(18) 16:00-16:15 近藤雅征 (千葉大学)

陸域海洋炭素収支の現状と今後の行方

16:15-16:25 閉会の挨拶(含;次年度公募について) 市井和仁 (CERE S 共同利用研究委員長)

【意見交換会】

17:00-18:30 (けやき会館 1F コルザ) (参加費 3000 円)

ポスターセッション プログラム (ポスター最大サイズ A0縦)

コアタイム 12:45-13:45 掲示時間 9:00-14:00

- P01: 小澤花音(茨城大学), 飯田大貴, 奥出信一郎, 久世宏明, 桑原祐史
DOAS 法を用いた日立市における CO₂ 濃度の計測
- P02: 椎名達雄(千葉大学), 香川直己
3rd generation Photon Counter の検討
- P03: KADIR Evizal Abdul (Islamic University of Riau)
Development of Environmental Remote Sensing for Water Pollution Monitoring System;
Case Study at Siak River, Indonesia
- P04: 宮崎 貴大 (香川高等専門学校)
地上でのリモートセンシングを対象とした自律型観測プラットフォームの開発
- P05: 朝隈 康司 (東京農業大学)
オホーツク海北海道沿岸域の懸濁物リモートセンシング
- P06: 浜口 暢(千葉大学), 室賀元晴, 難波一輝, ヨサファット テトオコ スリ スマンティヨ
CP-SAR 画像処理システム用 TCP/IP 通信環境実装
- P07: 久慈誠 (奈良女子大学), 川野いち子, 中辻菜穂, 山野沙織
奈良における地上光学観測データ解析によるエアロゾルの経年変化
- P08: 桃井裕広 (東京理科大学), 工藤玲, 森樹大, 三浦和彦, 岡本浩, 入江仁士
SKYNET データを用いた水蒸気推定手法の検証
- P09: Kasumi Hattori (Chiba Univ), Dimitar Ouzounov, Sergey Pulinets, Tiger Liu
Transient Effects in Atmosphere and Ionosphere Associated with 2018 Mw 7.5 Sulawesi
Indonesia Earthquake and Triggered Tsunami and Volcano Activities
- P10: 山本宗尚 (京都大学), 浅海悠, 重 尚一
A-train データを用いた日本海上降雪雲の構造解析
- P11: 丹羽洋介 (国立環境研究所)
NICAM-TM による CH₄ の大気輸送シミュレーション: 逆解析のインパクト評価
- P12: 本田照裕 (九州大学), 江口菜穂, 齋藤尚子, 丹羽洋介
上部対流圏・下部成層圏における二酸化炭素変動について
- P13: 朴 鍾杰 (東京情報大学)
MODIS データを用いた 15 年間のバングラデシュの洪水域変化抽出
- P14: 朱春茂 (海洋研究開発機構), 入江仁士, 宮川拓真, 竹谷文一, 金谷有剛
Characterization of light absorbing organic aerosols at Fukue Island based on SKYNET
remote sensing
- P15: 若林裕之 (日本大学), 本橋和重, 北神貴久, 本郷千春
Sentinel-1 C バンド SAR データを使用した稲作地の浸水域検出
- P16: 中田裕之 (千葉大学), 益子竜一, 鷹野敏明, 細川敬祐, 富澤一郎, 長尾大道
HF ドップラー観測による台風に伴う電離圏変動の解析

- P17: 山本修平 (東北大学), 本間香貴, 橋本直之, 牧雅康, 本郷千春
シミュレーションモデルとリモートセンシングを用いた作物生産量推定法の検討
第2報 2018年の宮城県沿岸部農家圃場における大豆生産阻害要因の評価
- P18: Yuti Giamerti (Tohoku Univ.), Didi Darmadi, Koki Homma, Ahmad Junaedi, Iskandar Lubis, Chiharu Hongo
Evaluation Trial of Drought Stress based on Rice Canopy Temperature in Probolinggo, Indonesia
- P19: 大前宏和 ((株)センテナ), 三宅俊子, ヨサファット テトオコ スリ スマンティヨ
リモートセンシングへのハイパー分光センサの適用可能性
-衛星リモートセンシング現場観測における小型分光器の活用-
- P20: 森山雅雄 (長崎大学)
静止衛星からの地表面温度推定
- P21: Takahiro Osawa (ウダヤナ大学), As-syakur, A.R.
衛星データを使用したインドネシア、バリ島の観光都市エリアにおける植物基礎生産量と土地利用の経年変化の研究
- P22: 千秋博紀 (千葉工業大学), 椎名達雄, 乙部直人, 梅谷和弘, はしもとじょーじ, 眞子直弘
小型 LIDAR を用いた人工竜巻の構造観測
- P23: 服部克巳(千葉大学), 宋鋭, Jann-Yenq Liu
GNSS データを用いた電離圏電子数トモグラフィー
- P24: 永井 信(海洋研究開発機構), 関川清広, 斎藤琢, 梶原康司, 本多嘉明
里地里山における高空間分解能衛星やドローンによる植物季節観測の高精度化
- P25: 堤田成政(京都大学), Pedro Rodriguez-Veiga
リモートセンシングによる広域観測データの空間誤差推定に関する研究
- P26: 染川智弘(レーザー技術総合研究所), 久世宏明, 河仲準二, 藤田雅之
レーザー誘起ブレイクダウン分光法を用いた大気中エアロゾルのリモート成分分析手法の開発
- P27: 岩田悠里(千葉大学), 梅木清, 平尾聡秀
航空機 LiDAR データを利用した森林内の葉群構造の把握
- P28: 福地孝哉(千葉大学), 梅木清
航空機 LiDAR データを用いたトドマツ人工林の上層樹高推定
- P29: 豊嶋紘一 (千葉大学), 広瀬民志, 加藤章子, 樋口篤志
国交省河川局雨量計データを用いた降水グリッド化プロダクトの作成について
- P30: 小菅生文音 (千葉大学), Liu Zhiyan, 市井和仁
Dagik Earth と JoyCon を用いた地球観測衛星データ表示システムの試作